

st Knit Material Fair in Yamagashi

第1回ニットマテリアル素材展

主催 株式会社ニットマテリアル

共催 有限会社サクラダ フジチギラ株式会社

全用布を16年後半に増設し、生産能力を2割高める。

帝人フロンティア単体の15年度業績は売上高2108億円（前期比2・4%増）、営業利益は37億円（9・7%減）だった。

た。衣料・繊維事業は増収微減益、産業資材は増収減益、化成品事業は減収、利益は横ばいだった。苦戦していたタイ・ナムシリ・インターテックスと南通帝人は大幅に利益を伸ばし、全

●製
製品た
増益や
増料イ
外販売
用途は
材料は
工調費
今期合
・複
む。力
なる

子会社が黒字化した。今年度は、売上高2150億円、営業利益44億円を見込む。

ルドインダストリー富山が出席する。会場費はニットマテリアルが負担する。チーゼル起毛機も会場に設置し、その場で実演もする。

山梨のニットマテリアル

6月に初の展示会

サクラダ、フジチギラと共催

フジックスグループで山梨県

ている。

甲府市が拠点のニットマテリアルは、6月3、4日に初の展示会「ニットマテリアル素材展」を笛吹市で開く。同社はニット

展示会は山梨の糸商サクラダ、フジチギラが共催する。約300平方メートルの展示会場には、

ニットマテリアルと取引のあるエップヤーン、木野毛糸、近泉合成繊維、近藤、ゴーセン、佐藤繊維、深田、三幸毛糸紡績、三甲テキスタイル、太陽毛絲紡績、滝善、東洋紡S.T.C、東洋紡糸工業、ナック、日興テキスタイル、フジチギラ、堀田丸正、丸安毛糸、マルヤ整理工場、三菱商事ファッション、三山、ヤマダテキスタイル、ワー

釜山の物流センターが起工式
韓国日通
日本通運の現地法人韓国日本通運はこのほど、釜山新港熊東背後団地の自由貿易地域（FTZ）で、「釜山グローバルロジスティクスセンター」の起工式を開いた。

用原糸、ストレッチ糸、ミシン糸、衣料資材、服飾資材、包装資材、レーベル類とニット製品を作るために必要な部材や染色・加工などのサービスを提供し

日本向け総責任者
藤誠一さん



る

国生産が見直されているという。中国をはじめベトナムなどの東南アジアやバングラデシュなど多様な生産網を持ち、使い分けて様々なニーズに対応する。力を入れるのは「ロス無く安定供給する」として貴族のニーズを